

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年3月31日

事業所名 ファーストハンド

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	2	0	個別、勉強など部屋を使用用途で分けている	
	2	職員の配置数は適切である	4	0	1	0		退職希望者が出た時には早急に欠員補充する
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	2	1	2	対象児童が不在のため現利用児に合わせた仕様にはなっている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	1	2	0	・毎週ミーティングを行なっている ・掲示板を使用し情報共有している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	1	2	0		主に責任者が行なっていたが全員で共有と改善をしていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	1	1	より分かりやすく円グラフなどにしてコメントも表示してある	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	2	0		管理者に任せているため今後確認していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	1	0	・掲示板にて全職員に呼びかける・旅費など会社負担で参加しやすい・参加後の発表もあり知識の共有もできる	
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	1	0	・お迎え時に保護者と話をしている・責任者が適宜保護者と情報交換を行なっている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	2	2	1		・どのように使用するか学んで活用していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	0	・利用児に合わせて調整している・毎週のミーティングで話し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	0	1	・1ヶ月を通し静と動のプログラムを均等に取り組めるよう工夫している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0	0	・平日は勉強中心のため長期休暇は遊べるよう工夫している・長期休暇前は1ヶ月以上かけてプログラムの検討をしている	

な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	0	0	・個別の活動と集団活動の内容を詳細に記録できている・STが必要な子には介入し低学年には小グループの活動も行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	1	・毎日担当が決まっておもうまくいかなかった時も記録に残し情報共有ができている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	0	1	・気づいたことがあれば記録に残し情報共有ができている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	1	0	・細かいことでも記録に残し活用している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	0	1	4	0	・週1のミーティングで情報共有し見直しに繋げている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0	0	0		・まずはガイドラインの総則について学びサポートに繋げていく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	0	2	・サビ管及びST、日常での担当者が出席している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	2	1	0	・お迎え時に先生に会えた場合は確認し、難しい場合は保護者などに確認をとり情報共有している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	0	0	・責任者が必要に応じて連絡を取っている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	4	1	0	・児童発達支援事業所と連携し情報共有に努めている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	1	3	1	・該当しない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	0	0		・石垣市には無いので今後オンラインなどを活用していけないか検討していきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	1	1		・祝日や長期休みなどを活用して交流できないか検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	0	3	1	・代表が参加し全体のミーティングなどで情報共有できている	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1	0	0	・可能な限りお迎えに来てもらい話す機会を持っている・口頭だけでなく写真や動画で様子を伝えている		

保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	2	0		・勉強会などあれば情報提供をしていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	0	3	1	1	・サビ管が専門用語を使わず分かりやすい言葉を用いている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	1	0	・コミュニケーションを取りやすい環境を作っている・場合によってはゆっくり話せるよう別途時間を設けている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	1	0		・まずは希望があるかどうかの状況確認をしていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	1	0	・苦情などがあった場合早めに情報共有し対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	0	1	・会報はないが定期的にSNSを活用し活動の様子を発信している	
	35	個人情報に十分注意している	4	1	0	0	・個人名がある書類の処分は必ずシュレッダーを使用している・個人ファイルなどは鍵付きキャビネットに保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	0	4	1	0	・児童へは構造化を用いたの支援をしている・保護者へはLINEを用いて文章を残すよう配慮している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	0	0		・まずは可能かどうか検討していきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0	4	0	1		・現在の環境に合わせたマニュアルを見直しし保護者へ周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	1	2	0		・今後、防災の日に合わせて行えるよう調整する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	0	1	2	・順次、各指導員が研修を受けられるようにしている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	0	0		・まずは「身体拘束」について学び、組織内で共通理解し共有した上で放課後等デイサービス計画に記載していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	1	0	・保護者からの情報に基づき対応している	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	0	0	0	・掲示板内で記録し全職員で共有できるようにしている		